

佳作

『犬と私の10の約束』を読んで

茨城県 高萩市立松岡小学校三年 坂本 美羽

この本は、わたしのお気に入りの一さつで、主人のあかりちゃんと、犬のゴールデンレトリバーのソックスのお話です。

あかりちゃんは、お母さんと犬ぎらいのお父さんの三人ぐらしでしたが、あかりちゃんが小学生の時、お母さんがびょう気でなくなりました。

お母さんがなくなってから、あかりちゃんの一人の時間がふえさみしい思いをしていた時、子犬が家にまよいこんで来て子犬をかうことになりました。その子犬がソックスです。

あかりちゃんとお母さんの間に、犬との十の約束がありました。

その中で私が心にのこる約束が三つあります。

一つ目は、「あなたと一緒にいる時間は十年くらいしかありません」です。

犬は人より何倍も早くせい長して、年をとってしまいます。

二つ目は、「あなたと私のすごした出来事を、決して忘れません。」です。

ソックスは、なんでも自分のあなに物をもっていったってしまったら、何度もくつをかくしたりしてしまいます。

そんなソックスでも、あっち向いてホイの強い犬がひょうばんになり、びょういんぎらいの子どもが来たり、リハビリをしようとしないうちにもソックスをおいかけているうちになおってしまったら、ソックスはふしぎな力を持っていて薬や手じゅつをしなくても心でおおってしまうセラピー犬のようになっていました。

いやなよ感がする時はくつをかくしたり動けなくなったりします。

ふしぎな力を持ったソックスです。

三つ目は、「私がこの世を去る時は、そばにいて見おくらしてください。あなたがそばにいてくれるだけで、私は幸せに天国へ旅立てるから。そして、どうか忘れなくてください。私が、あなたをあいつていることを」です。

ソックスは人の言葉をしゃべれなくても人の気持ち
ちがわかる犬です。

犬にもいのちがあって、人の気持ちもわかるのに、
かんたんにかってかんたんにすてられる犬が多いこ
と、人間のおせき任のためにいのちを落とす、すて
犬はいのちがあるのにゴミみたいにすてられてしま
うことを、あかりちゃんのお母さんが言っていました。
そうならないために、十の約束があったのだと思
います。

私ももし犬をかったら、あかりちゃんのように大
切に育て、たくさん話し、たくさん遊び、さみしく
させないようにします。

犬をかってみたい人も今かってる人もこの本のよ
うに十の約束を作るといいと思います。

それしたら、かわいそうな犬が少しでもへるかもし
れません。